なぎさ防災システム

～防災・減災の取組事例のご紹介～

2013年　3月20日

なぎさニュータウン

なぎさ防災システム検討委員会

Contents

- なぎさニュータウンのご紹介
- なぎさ防災システム検討のきっかけ
- なぎさ防災システム（DVD）
- なぎさ防災システム検討のポイント
- みなさまへのメッセージ

なぎさニュータウンのご紹介（位置）

なぎさニュータウンのご紹介（概要）

なぎさニュータウンのご紹介（組織）

継続メンバーによる防災訓練の計画・実行

なぎさ防災システム検討のきっかけ①

2005年春

阪神・淡路大震災から10年

防災マニュアル
作成開始

2005年9月

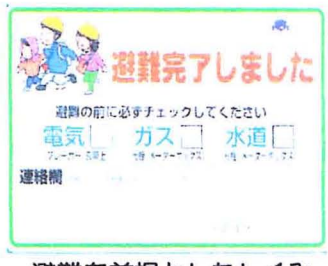
協働防災
システム
ガイド

2005年

防災会＋自衛消防班
による活動指針

千葉県
北西部地震

2005.7.23



避難を前提としたしくみ

なぎさ防災システム検討のきっかけ②

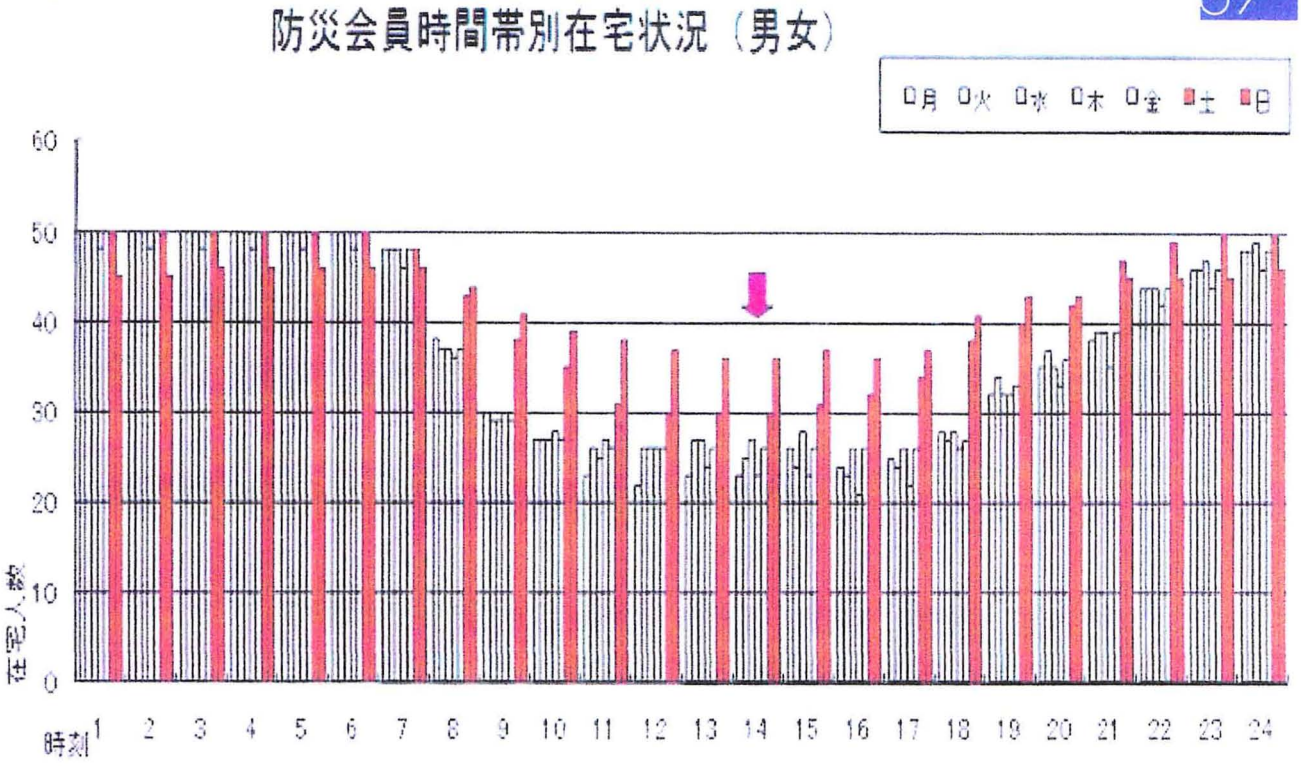
なぎさ防災システム検討のきっかけ③

◇主な大型地震と発生時刻

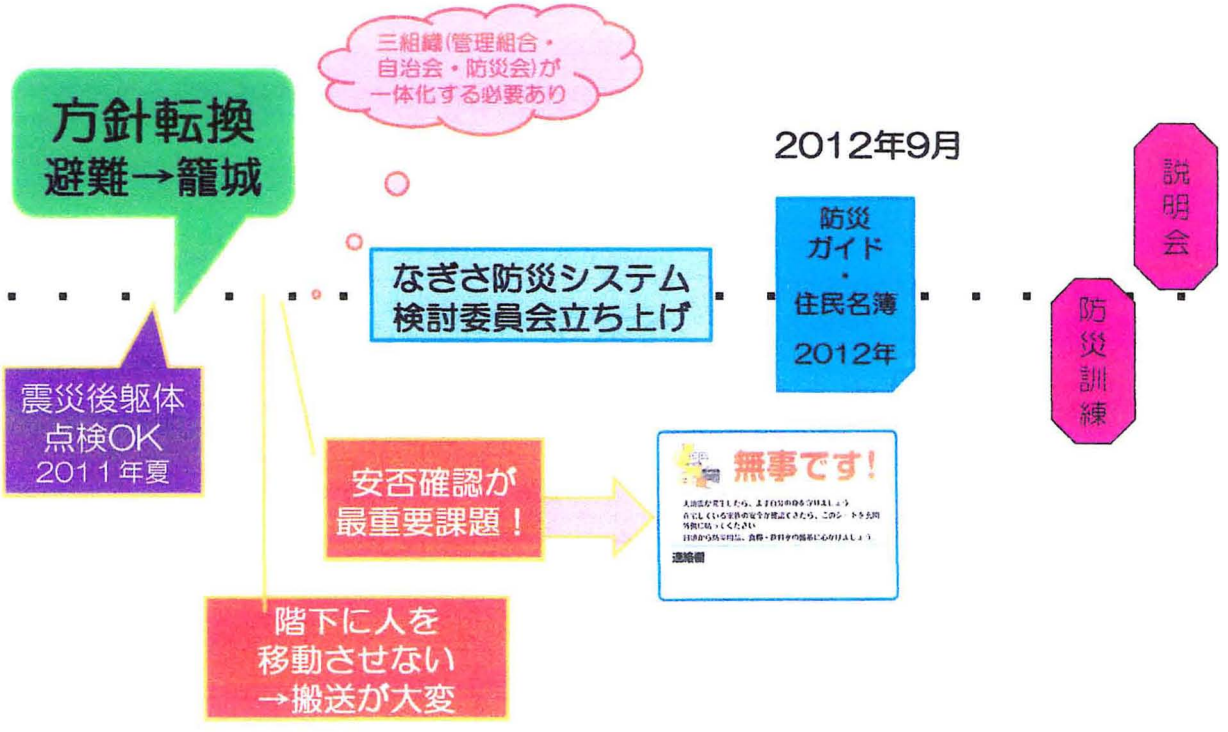
独自資料（気象庁HP他を参照）

地　震　名　称	発生年月日	時刻	曜日	発生時	規模（M）	最大震度
北海道南西沖地震	1993/7/12	22:17	月	平日夜	7.8	6
北海道東方沖地震	1994/10/4	22:22	土	土曜夜	8.2	6
阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）	1995/1/17	5:46	火	平日早朝	7.3	7
鳥取西部地震	**2000/10/6**	**13:30**	**金**	**＊平日日中**	**7.3**	**6強**
芸予地震	2001/3/24	15:27	土	土曜日中	6.4	6弱
宮城県沖地震	**2003/5/26**	**18:12**	**月**	**＊平日日中**	**7.0**	
宮城県北部地震	2003/7/26	0:13	土	土曜深夜	6.2	6強
十勝沖地震	2003/9/26	4:50	金	平日早朝	8.0	6弱
新潟県中越地震	2004/10/23	17:56	土	土曜夕方	6.8	7
福岡県西方沖地震	2005/3/20	10:53	日	日曜日中	7.0	6強
千葉県北西部地震	2005/7/23	16:35	土	土曜夕方	6.0	5強
能登半島地震	2007/3/25	9:41	日	日曜朝	6.9	6強
新潟県中越沖地震	2007/7/16	10:13	月（祝）	祝日朝	6.8	6強
岩手・宮城内陸地震	2008/6/14	8:43	土	土曜朝	7.2	6強
東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）	**2011/3/11**	**14:56**	**金**	**＊平日日中**	**9.0**	**7**

なぎさ防災システム検討のきっかけ④



なぎさ防災システム検討のきっかけ⑤



なぎさ防災システムとは

安否確認をできるだけ早く、効率的に行い、
次の行動（救助）に結びつけるしくみ

『近助』

- 阪神淡路大震災：住民が近所の住民を助けた事実。
- 東日本大震災　：なぎさ内で自然発生的に活動したこと。
  できなかったこと。
  浦安市での被害と対応から得た教訓

防災は、**自助**、**共助**、**公助**　が重要と言われますが、
なぎさでは、**自助**と**共助**の間に『**近助**』を入れました。

なぜ避難しないのか？

●内部環境の変化

- 耐震診断で、なぎさの躯体の安全性が確認された
  →逃げる必要はない！

●外部環境の変化

- 避難所（収容能力）の不足が明らかになった
  →避難所には入れない！
  家屋全壊（水没等）の住民が優先入所

●過去の大地震発生時の状況

- エレベーター停止
  →上下階の移動が困難になった

『避難』から『籠城』へ

巨大地震が発生したら、

●命を守る
- 室内の安全確保「家具転倒防止等」

●安否確認
- 家族⇒フロア⇒号棟⇒なぎさ全体

●フロアでの助け合い
- 人命救助（発見～通報）
- 不安除去（一緒に行動・待機）

フロア間の移動は最小限に留める

近所づきあいの必要性

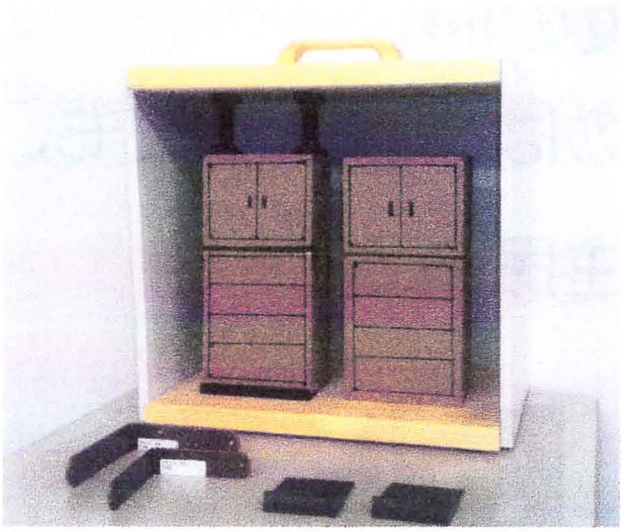
阪神・淡路大震災の時、
多くの命を救ったのは、自衛隊でも、
消防でもなく、“住民の力”

近助

なぎさ防災システム検討のポイント

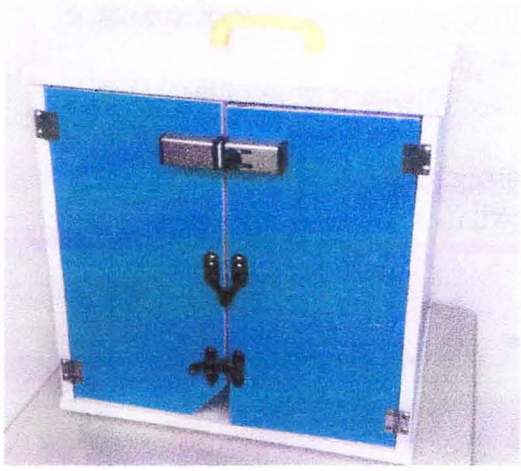
- まず、ガイドを手に取ってもらうこと
  - どんなに正確な情報でも、どんなに立派な資料でも、文字が多かったり、小さかったりしたら×
    - 「小学生でも読めるものを！」
- 如何に籠城させるか？
  - 建物が無事でも、室内にモノが散乱していてはOUT!
    - 防災ガイドを利用して、家具転倒防止対策、家具の配置の見直し等を紹介。
    - 秋の総合防災訓練で、「モデル」を使って、紹介。

なぎさ防災システム検討のポイント



家具転倒防止モデルで、突っ張り棒、ふんばる君等の有効性を紹介。

なぎさ防災システム検討のポイント



家具は倒れなくても、食器棚の扉が開いて、室内に食器が散乱する例もあった。→扉ストッパーの紹介。

なぎさ防災システム検討のポイント

必要なものも少しずつ揃える。実績を積んで、増やしていく。

当初は、避難用に4セット購入。現在は、16セットに。

なぎさ防災システム検討のポイント

トイレの水は流さないで！…洗面所・台所も同じです

大きな地震で、排水管がずれる可能性があります。

◆断水の場合、トイレに風呂の水を使うという方法を紹介している防災対策本がありますが、マンションの場合は、事情が異なります。
⇒東日本大震災の時、浦安市のマンションでは、途中階で汚水が漏れ出すという事態が発生しました。
※風呂の水を溜める際には、浴槽の半分程度を目安にしましょう。
◆状況によっては、代用トイレを利用してください。↓

以下の物で、代用トイレが作れます。

45ℓ ゴミ袋→

ペットシーツ

↓ ↓

代用トイレの作り方

①便座を上げ、45ℓ袋をかぶせる。

②便座をおろす。

③便座に45ℓ袋をかぶせる。

④脱臭、吸水用のペットシーツを敷く。

◆写真は一例。便器（の側面）の形状によっては、この通りにならないこともあります。

代用トイレの使い方

✓ **①の袋はかぶせたままにしておきます。**
③でかぶせた袋（交換用）の底が便器の水に触れないようにするためです。

✓ **④小さな子どもの場合、ペットシーツの量を半分にするなど、各自でポイントをしてください。**

✓ **使用後は、③でかぶせた袋の口をしばり、ベランダへ。**
段ボール箱やゴミバケツの内側にビニール袋を敷くなどするとよいでしょう。

みなさまへのメッセージ

- マンションによって、事情が異なります。

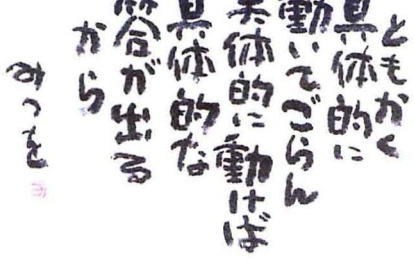
自分たちで、自分たちのマンションに合った独自の検討をしてください。

- 分譲⇔賃貸：住民の温度差があるかもしれません。
- １棟⇔複数棟：体制に違い
- オートロックのマンション～停電時はどうなる？

→近隣マンションと合同で検討してもいいでしょう。
同じ規模のマンションで検討するのもいいと思います

みなさまへのメッセージ

- **できることから始めましょう。**
  - 簡単な想定から検討しましょう。
  - お金を使わず、頭を使おう！
  - 予算のハードルを下げるには、100均めぐりはお勧めです。



- **批判は大歓迎！**
  - 何もしなければ、批判すら生まれない。
  - 批判は、改善ポイントかもしれません。

みなさまへのメッセージ

- 楽しく検討しましょう
  - 否定すると思考が止まります。
  - 意見を如何に活かすかを考えましょう。

- 会議室でもできる参加型訓練もあります
  - 減災シミュレーション
  - DIG（図上災害想定）
  - 子どもの巻き込み

みなさまへのメッセージ

- 管理組合として
  - 公助は あてにならない！災害規模が大きいほど期待薄!!
  - 住民に当事者意識がない。

    →災害時は、管理組合の理事も被災者!であることを
    じっくり説明しましょう。

  - 住民視点で考えていますか？（「上から目線」）
  - 効果／成果を急いでいませんか？　1%でも0よりまし。

みなさまへのメッセージ

➢なぎさニュータウンでの検討状況

➢この防災システムは、まだまだ課題があります。

➢現在の検討の前提は、ライフラインに支障がないこと。

⇒電源の確保
⇒給水ルールの策定
⇒マンホールトイレ等の検討
⇒号棟連絡所の位置決定
⇒災害対策本部の立ち上げシミュレーション
etc.

➢お互いに情報交換をしながら、マンションの防災・減災対策を進めていきましょう！

ご静聴ありがとうございました。

JKB 89
Nagisa Safety Confirmation System
Jichikai
Kanrikumiai
Bousaikai